

遠征ツーリングで元気ハツラツ!! フリーワールド徳島鳴門ツーリング開催!!

2019/05/26(Sun)



今回は名古屋市港区と香川県高松市にショップを構えるフリーワールドの徳島鳴門ツーリングにお邪魔し、ジェットでの遠征ツーリングの魅力を伝える事にした。集合場所は徳島県のあるスロープ。ここは利用者の皆さんがルールを守って大切にしている場所なので、場所は公表できないが、地元でも人気のスロープだ。名古屋組、高松組のメンバーは朝7時半に集合し、早々に準備を済ませ、徳島鳴門ツーリングがスタートした。先頭を走る高松店の玉井店長は香川県や徳島県のツーリングポイントを熟知しており、本当に頼りになる方だ。また、本店

の成田社長はガムから石川県までいろいろツーリングをされており、お客様にツーリングの魅力を伝えるため、日頃からグーグルマップを教科書にツーリングポイントを探している。そこで面白そうな場所を見つけると高松店に電話し、「ちょっと見てきてくれない?ジェットは降ろせそう?」と聞いているそうだ。そして、玉井店長が実際に見に行き、降ろせそうなら、ジェットを降ろし、コースを探しに行く熱心さである。こうした話を聞くだけでも、フリーワールドがいかにお客様を満足させるツーリングを企画しているかが分かる。今回は川から海に出て



取材協力:フリーワールド 名古屋本店 愛知県名古屋市港区西福田一丁目2015番地 TEL:052-303-3311 URL: <http://freeworld.car.coocan.jp>
フリーワールド 高松店 香川県高松市十川西町213番地7 TEL:087-887-0597



鳴門、徳島を走るコースだが、走り出して最初が驚くのが橋の多さであった。基本的には船も航行している川なので、そこそこ幅もあり高さもあるのだろうと考えていたが、なかなかデンジャラスな橋もあり、変化があって走っているととても楽しい!しばらく走ると目の前に大きな河口堰が現れた。ここは長良川と同じで川から海に出るところで、潮の干満に合わせて水位を調整しており、中で待っているのもなかなか楽しい。そこからしばらく走ると、左側に見覚えのある看板が現れた。「元気ハツラツ!オロナミンC!!」どうやら大塚製薬の倉庫のようで、インパクトのあるデザインが「ツーリングするときはオロナミンCを飲んでね!」と言わばかりに我々にアピールしてきた。そこで記念写真を撮影し、次なるポイントを目指してジェットを走らせた。水路はだんだん広がっていき、いよいよ海へと繋がった。向こう側には淡路島がうっすらと見えていたが、有名な鳴門の渦潮ができるポイントではなく比較的穏やかな水面が我々を迎え入れてくれた。島田島を反時計回りに回って昼食ポイントの福丸水産近くの砂浜に到着したのだが、なんとこの砂浜も福丸水産もグーグルマップで見つけて成田社長と玉井店長で下見に来ていたとのこと!本当にすごい!こちらのお店は新鮮なBBQや各種定食がお値打ちに頂く事ができるので、もう一度車でも行ってみようかと思ってしまうほどのお店だった!昼食を済ませると、そこからは外海

に出て、かなりの直線が我々を待ち受けていた。鳴門から徳島市内を目指して一気に南下したのだ。しばらく走って海から川に入り徳島の街中を走るので徐行をし、街並みを見学しながらツーリングを楽しんだ。街中の川沿いではイベントが開催されており、沢山の皆さんが我々に手を降ってくれたので、こちらも手を振り返し、地元の方とのコミュニケーションを楽しんだ。ジェットはさらに街中から住宅街に入ってきたので最徐行。エンジンの音や波の音で住民の皆様にご迷惑を感じさせないよう、本当にゆっくりと走らせた。この辺の気遣いは流石で、昨今話題となっているPWCの騒音問題を考慮し、参加者全員が最徐行で各艇が会話ができるほどの速度で走行した。散歩をしている親子連れが手を降ってくれたのが凄く自然で、また嬉しくも感じた。細心の気配りをしつつも、走れるところでは全開で走れるように設定されている今回のコースは流石、フリーワールドと思った。そして、そんなことを考えているうちに、朝出発したポイントに全員無事に戻る事ができたのである。このツーリングを通じて、フリーワールドは常にお客様ファーストで、お客様にどれだけジェットライフを楽しんで頂くかを、徹底的に考えているお店なんだということも再認識することができた。今回遠征したことで、初めて行く場所がこんなにも新鮮で面白いのかと、改めて心の底から思った徳島鳴門ツーリングの取材となった。